

教授に出る

# 教育時事

## Headline

**1** 1935年、菊池寛編集の『文藝春秋』昭和10年1月号、「芥川・直木賞宣言」として発表されます。直接のきっかけは直木三十五の前年の急死でした。芥川龍之介はその8年前に亡くなっていました。直木は大変な窮乏と借金癖でも有名です。家賃を一年半分も溜めてしまった、彼は三十一歳。一念発起し自ら付けた筆名が直木三十一でした。そこから三十二、三十三。三十四は飛ばして、三十五。筆名を年齢に合わせてスライドさせました。

「人間が、生死を越えるということは、生死以上に大変なことである」

（『日本剣豪列伝』（直木三十五著、河出文庫）

### News Headline Top3

TOP

1

### 緊急事態宣言下、 初の共通テストを実施。

(1/31)

マスク着用など感染予防策を周知徹底して実施した。今回が初めての大学入学共通テストでは英語の問題英文が大幅に増加。また公民・理科に関して難易度のばらつきが生じ、得点調整、加点点置も取られた。地理歴史では感染症に関連する問題も出題。思考力判断力を重視して、全体的に複数の資料を分析する出題形式となり、かつての大学入試センター試験より難しくなったもよう。

☆一期校 学校群 バカロレア

TOP

2

### 文化審議会、重要民俗文化財に、 寒水の掛踊(岐阜県)などの指定を答申。

(1/15)

文化審議会（佐藤信会長）は重要有形民俗文化財として、上尾の摘田・畑作用具(埼玉県)の1件、重要無形民俗文化財として、放生津八幡宮祭の曳山・築山行事(富山県)、寒水の掛踊(岐阜県)、阿波晩茶の製造技術(徳島県)、対馬の盆踊(長崎県)、野原八幡宮風流(熊本県)の5件を新規指定するように文科相に答申した。これで重要有形民俗文化財は合計224件、重要無形民俗文化財は合計323件となる。

☆祭礼行事 奉納 稚児

TOP

3

### 芥川賞・直木賞2020年下半期、 ともに女性作家受賞。

(1/20)

芥川賞は、2019年『かか』で三島由紀夫賞を受賞している現役大学生の宇佐見りん氏が、アイドルのファン心理を題材とした『推し、燃ゆ』。直木賞は、2005年『金春屋ゴメス』で日本ファンタジーノベル大賞を受賞した西條奈加氏が、江戸時代の長屋の人々を描いた『心淋し川』。NEWSの現役アイドル加藤シゲアキ氏は直木賞、人気バンド、クリープハイプの尾崎世界観氏は芥川賞にそれぞれノミネートも受賞ならず。

☆ゴンクール賞 ブッカー賞 ピュリッツァー賞

教採に出る

# 教育時事

## Headline

1 1936年8月ナチス支配下の独ベルリンでTV中継、大規模なページェント、レニ・リーフェンシュタール監督のドキュメントタリー映画撮影などを総合した大イベントとしての五輪が開かれます。その数週間前、スペイン軍の反乱による内戦勃発で中断に追い込まれたもう一つの五輪がありました。スペイン人民戦線政権がベルリン五輪に対抗して準備した人民オリンピック。しかし開始前日7月18日、フランコ率いる軍に決起の合図の電文がラジオから流れました。

「スペイン全土は雲ひとつない快晴」

### News Headline Top3

TOP

1

### 小学校教員採用試験、 倍率過去最低に。

(1/31)

2020年度、全国で採用された公立小学校の教員の採用倍率は2.7倍と、過去最低になったことが文部科学省の調査で判明した。同年度の全国の公立小学校教員の採用試験の受験者数は4万4710人で前年度より2951人減少し、採用者数も336人少ない1万6693人に。採用倍率2.7倍は、最も高かった平成12年度の12.5倍と比べて5分の1程度まで落ち込み、過去最低。公立小学校全学年での「35人学級」導入が決まり、今後5年でおよそ1万人余りの教職員の増強が必要といわれている。 ☆新規学卒者 ベビーブーム 講師バンク

TOP

2

### テニスの大坂なおみ選手、 全豪オープン女子シングルスを制す。

(2/20)

大坂選手のテニス4大会での優勝は、2020年の全米オープン以来4回目。全豪では2年ぶり2度目の優勝である。けがによる試合前棄権を除くと21連勝となり、世界ランキングでも2位に順位を上げる。現在23歳の大坂選手はハイチ系米国人の父と日本人の母のもとに大阪で生まれ、3歳の時に渡米。黒人に対する暴力や人種差別に抗議する運動BLM (Black Lives Matter) などに関するメッセージでも話題となった。

☆ナイキ 出生地主義 血統主義

TOP

3

### NASAの火星探査車、 火星着陸成功。

(2/19)

2月19日、「パーシビアランス」と名付けられたNASA (米国航空宇宙局) の火星探査車が、赤道付近のクレーター「ジェゼロ」に降り立った。クレーターは直径約45キロで数十億年前に巨大な湖があったとされ、探査車はこれから2年をかけて、かつてここに微生物が存在していたかを調査する予定だ。NASAが火星着陸を成功させるのは、27億ドルかけて開発された同機で5台目。「パーシビアランス」(perseverance)は、英語で「忍耐」を意味する。

☆バイキング エクソマーズ ESA